

第13回 議会報告会要望等一覧

その1

番号	項目	要望等(要旨)
1	成年後見支援センターについて	<ul style="list-style-type: none"> ・石狩管内では、当別町と新篠津村を除き、全市が設置済みとなっており、潜在的なニーズは現時点でもあるので、制度の利用を促進していくためには、専門職を配置した上で成年後見制度に関する相談対応や申し立て等の支援をしっかりとできる体制を整え、加えて市民後見人の養成や活動の支援、住民の醸成、町民への制度の普及啓発などを総合的に行う「成年後見支援センター」を早急に設置するなど体制強化を期待している。
2	良好なスポーツ環境の創出について	<ul style="list-style-type: none"> ・グループインタビュー時に要望した『子供から高齢者まで、スポーツを通じた健康づくりを推進していきたい。』を『幼少期から生涯にわたる運動習慣の確立を目指し、スポーツを通じた健康づくりを推進したい。』という文言に修正していただきたい。
3	学校教育とスポーツ団体の連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育とスポーツ団体の連携を深め、子どもたちの潜在能力を引き出し、良好なスポーツ環境を創出するということを盛り込んでいただきたい。
4	地域福祉の推進(移動支援)について	<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援について、小さな事業所だけでなく、社協のヘルパーステーションの方たちや福祉タクシーをやっている方たち等と力を合わせながらニーズにこたえられるような具体的に協議する場を設けていくことが必要と思っている。「移動(移送)支援」は、喫緊の課題である。計画の中で具体的な形にしてほしい。 ・要支援者の方が災害にあった場合、どのような形で情報が得られるのか、次に情報が得られたときに誰がその方たちに手を差し伸べるのか、自分たちだけでいけない方の支援の形を早急に作っていただきたい。
5	観光について	<ul style="list-style-type: none"> ・観光の戦略について、当別町として観光をどう位置づけるのか。目標を計画の中で明らかにしたほうが良いと考えている。 ・観光協会の組織について会長はいるが事務局は役場の職員となっており、人事や予算など会長の判断では難しいことがある。観光協会を民間化、社団法人にするなどそういう方向性で考えてみてはどうかという結論に至った。そうすると観光のエキスパートを育てることができる。

第13回 議会報告会要望等一覧

その2

番号	項目	要望等(要旨)
		<ul style="list-style-type: none"> ・150年を機会に歴史看板の設置や自然の看板など町の特徴がわかるような看板があると観光的に親切的な設備となると思う。
6	文化・スポーツ活動の振興について	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、児童数の減少に伴い、スポーツ少年団の人数が減ってきており、当別と太美地区に2チームあったのが、統合を余儀なくされている。このことに対して町の支援を検討していただきたい。 ・今後、小学校が新しくなるので、課外活動、スポーツ活動についても総合計画に盛り込んでいただきたい。
7	新しいまちの顔づくりプロジェクトについて	<ul style="list-style-type: none"> ・第5世代移動通信システムもかなり具体的なことが書かれているが、10年後どうなっているかわからないと思うので、文言をもう少し精査した方がよい。
8	福祉教育について	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一体型義務教育学校が設立され、独自の一貫したカリキュラムを策定する中で、小学校低学年のうちから福祉というものについて、心を醸成するようなものを当別の教育の柱としていただきたい。
9	人材育成について	<ul style="list-style-type: none"> ・町内に北海道医療大学がある優位性を活かし、高大連携、高大の付属化、小中高の連携等を含め、当別から人が流出しないよう、人材育成に取り組むことを主眼に置いていただきたい。
10	農業人口の減少対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した町営住宅の跡地を利用し、無償で提供するなどして人口を守ることも大切だと思う。今、若い当別の農業者は、結婚すると江別や札幌に住居を求めて出て行ってしまふ。農業人口が減っていく中で、なおかつ農業者が外に出てしまふ状況である。当別町の人口を減らさない対策を要望する。

(※番号は、発言順)